

計画第3期突入！ CS本格実施へ

小中一貫・CS通信

NO.30 R3.9.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

緊急事態宣言が今月末まで延長され、またまた計画変更を迫られる事態となりましたが、感染拡大の勢いが次第に緩やかになり希望の光が見えてきました。もうしばらく辛抱は続きますが、感染対策を施しながら粛々と教育活動を進めましょう。今月は小中一貫教育・CS推進連絡会議の様子を中心にお知らせします。

小中一貫教育・CS推進連絡会議開催！ 8/26

8月26日(木)、小中一貫教育・CS推進連絡会議がオンラインで開かれました。菅野勇次教育長の挨拶に続き役員改選が行われ会長に喜多敦まくべつ学園長、副会長に白井将之ちゅうるい学園長が選出されました。その後、各学園の活動の様子、成果と課題が各会場からオンラインで報告されました。以下、報告概要を掲載します。

まくべつ学園…目指す子ども像と目標の共有のもと、頻繁に会議が行われ、コロナ禍でも活動が進んでいます。学習部…乗入授業と中学校登校、生活部…児童会生徒会交流、地域連携委員会…ふるさと学習とキャリア教育の推進、特別支援委員会…小中授業自由見学、学習会等が取り組まれています。定期的に会議を開くことで、意思の疎通と情報共有が進み、活動がスムーズに進んでいます。CSの取組も少しずつ進んできています。

糠内学園…毎月定例の経営会議とICT活用で着実に活動が進んでいます。変える力部会…日常的にICTを活用することを目指し、Chromebookの生徒向け研修会、Google Meetによる臨時休業中の学びの保障、小学校同士のオンライン授業等に取り組んでいます。つながる力部会…教職員全員参加のアイスブレイク、授業参観交流、Googleドライブを活用した学級通信交流等に取り組んでいます。ICT活用により日常的な情報共有ができるようになりました。

さつない学園…合唱(うた)でつながり育つ9年間を掲げるさつない学園はコロナ禍の影響を強く受けていますが、できる取組を工夫して進めています。歌声集会は札内中学校だけで行いましたが、各小学校でも練習を進めています。合同あいさつ運動は、同じ日に各学校で行っています。CS関連では、各校PTAを中心にCSにつながる取組が盛んに行われているほか、地域学校協働本部設立に向け検討を進めています。

札内東学園…これまで集合・対面で行ってきた取組をコロナ禍でも工夫を凝らして実施しています。1回目の中学校登校は小小交流を取りやめて実施、教職員合同研修会は各校をオンラインで結んで開催しました。このほか、3年目となるノーゲームノーテレビデーも継続しています。CS関係では、子どものために何ができるかを各方面から集約しているところ。10月には延び延びになっている地域学園協働本部の総会を開催予定です。



ちゅうるい学園…ICTを活用した取組と対面・集合型の取組をうまく組み合わせて活動を進めています。ICT活用合同部会やICT合同研修会を実施したほか、小中合同体力テスト、小中合同漢字検定、小中相互授業参観、小1中学校探検など対面型集合型の取組も成功させています。また、課題としていた広報活動にも意欲的に取り組み、キャリア教育ポスターを忠類市街地各所に貼り出しています。GS関係では、人材バンクの取組を進めています。

各学園の報告のあとは、相互に質問し合って特色ある取組について理解を深めていました。今回の連絡会議では、各校・各学園のコーディネータが丁寧に説明しそれぞれの役割をしっかりと果たしていました。学園活動を進めようとする意欲と頼もしさを感じられました。

具体的活動進むまくべつ学園 学校行事取組交流、授業自由見学

「学校行事の取組の交流」の一つとして、幕別中学校の文化祭の準備の様子を小学校教員が参観する取組を9月28日（火）と30日（木）に行います。小学校教員が中学生の活動の様子を見学交流することで、9年間の学びを見据えた一貫した指導に生かすことや、児童・生徒理解をねらいとしています。コロナ禍により今年度は教員のみの見学としました。

8月23日～9月3日の期間、主に特別支援学級を中心に小中の授業交流を行いました。この期間、随時見学を可とし、児童生徒の様子や授業を参観交流しました。限られた時間ではありましたが、2週間にわたり述べ15名の先生方がそれぞれ授業見学しました。それぞれの支援学級の様子や授業を見学することにより、今後の支援に係る情報共有や授業改善に役立つことにつながりました。

このほか、小中の学校生活を一覧にした「令和3年度版まくべつ学園 まるわかり一覧表」を作成しました。昨年度作成した一覧表を検討し、今年度は小中共通した「学習のきまり」を一覧表に加えました。今後も小中が共通認識を図り、継続的な学習指導や支援を進めていきます。



キャリア教育「林業を学ぶ」 ちゅうるい学園忠類中学校



総合的な学習の時間で「忠類を知る～林業体験学習その①～」が行われました。大坂林業のご協力のもと、「木のサイクル」（使う→植える→育てる→伐採する）の「植える」段階を学ぶことができました。

説明して下さった松村さんと大坂さんから「スマート林業」という言葉が多く語られました。肉体的につらい作業をどうするか、働く人数が少ないのをどうするか、自然災害が多く発生し被害が大きくなってきていることをどうするかといった問題をどう「賢く」解決していくのかを常に考えていると感じられるお話でした。木の苗を育てるのも苗畑ではなくコンテナ苗を使用し、細かく見ていくとコンテナ苗の形も変えている工夫をしているとのこと。木は50年が1サイクルと言われていて、かなり遠くのところまで考えて仕事をしていることに感心させられます。「自然から学ぶ、よく育っているところはどんな条件があるのかを学ぶ。」「人間は見えないところに無関心。」との指摘にも感心させられました。

この後も、「木の利用」、「木の伐採」の体験学習が予定されています。